

# 伊豆諸島御蔵島のチビシテムシ類

亀澤 洋

〒350-0825 埼玉県川越市月吉町 32-17(kamezawahiromu@gmail.com)

## Faunistic notes on Cholevinae and Coloninae (Leiodidae) from Mikurajima Is., the Izu Islands, Japan

Hiromu KAMEZAWA

伊豆諸島御蔵島のチビシテムシ類(タマキノコムシ科チビシテムシ亜科およびヒゲブトチビシテムシ亜科)の記録は、澤田・渡辺(1969)が御蔵島の昆虫相をまとめた際にチビシテムシ亜科2種を目録に記載し、データを示したのが唯一である。

筆者は御蔵島において2012年6月30日～7月8日、2013年5月11日～17日の期間で甲虫類の調査を行い、いくつかのチビシテムシ類を確認したので、これまでの文献記録を整理するとともに報告する。なお、以下に示した採集データの採集者はすべて筆者なので省略する。

### 1. クリバネチビシテムシ *Micronemadus pusillimus* (Kraatz, 1877)

【文献記録】御蔵島(澤田・渡辺, 1969)。

【採集データ】1♀, 東京都御蔵島村里～川田, 6.

VII. 2012; 1♂5♀♀, 同地, 13. V. 2013; 1♂, 御蔵島村里～黒崎高尾山, 14. V. 2013.

御蔵島ではオオミズナギドリの営巣コロニーが樹林内の各所にみられ、死体も少なからず見受けられる。採集個体は、すべてオオミズナギドリの死体から得た。伊豆諸島からは、ほかに三宅島に分布することが知られる(福澤ら, 2008)。

### 2. ヒレルチビシテムシ *Catops hilleri* Kraatz, 1877

【文献記録】御蔵島(澤田・渡辺, 1969)。

【採集データ】2♂♂, 東京都御蔵島村里～川田, 13. V. 2013; 2♂♂2♀♀, 御蔵島村里～黒崎高尾山, 14. V. 2013.

本種もオオミズナギドリの死体から得た。伊豆諸島からは、ほかに三宅島から記録がある(福澤ら, 2008)。

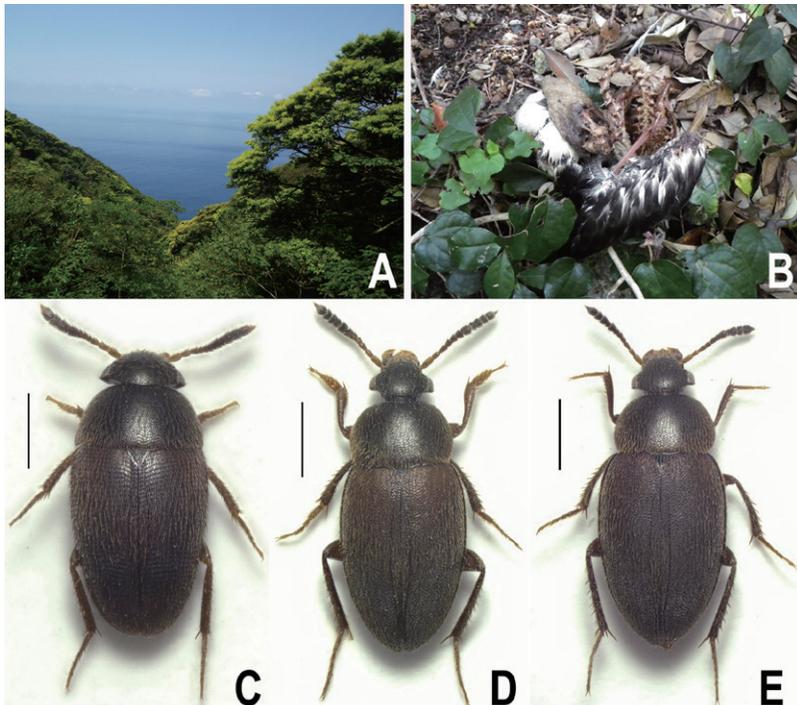


図1. 御蔵島のチビシテムシ亜科. A, 鬱蒼とした樹林におおわれた御蔵島の樹林環境; B, チビシテムシ類2種が得られたオオミズナギドリの死体; C, クリバネチビシテムシ♂; D, ヒレルチビシテムシ♂; E, 同♀(スケールは, Cは0.5 mm, ほかは1 mm)。

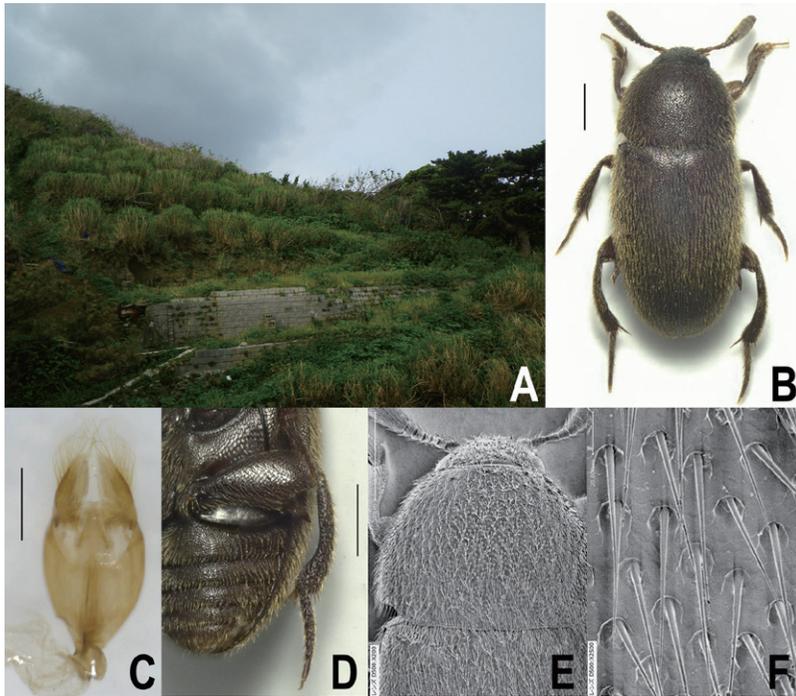


図2. 御蔵島のヒゲトチビシテムシ亜科。A, 風衝地に発達した草地環境; B, イヌカイヒゲトチビシテムシ♂; C, 交尾器(腹面); D, 左後脚を腹面から示す; E, 前胸背(SEM); 前胸背板の点刻間の微細構造を示す(SEM) (黒いスケールは, B, Dは0.5 mm, Cは0.2 mm)。

### 3. イヌカイヒゲトチビシテムシ *Colon (Myloechus) inukaii* Hoshina, 2009

【採集データ】1♂, 東京都御蔵島村里, 16. V. 2013. 伊豆諸島初記録。ハチジョウススキが優占する草地環境でのシフティングによって確認された。

本種は, 岡山県側的那岐山をタイプ産地として記載されたヒゲトチビシテムシで, タイプシリーズ以外の採集例は知られていない。タイプ産地を含む岡山県の3地点, 福井県の2地点が現在知られている記録地で, 得られている個体はすべてフライト・インターセプション・トラップで捕獲されている。本種を含む種群は近似の5種からなるが, 前胸背の点刻間の微細な鮫肌状構造が顕著で, 後脚腿節の突起が強壮であること, 後脚脛節が内側に強く湾曲すること, 交尾器形態などによって区別される。

伊豆諸島からは, 種群の異なるオオヒゲトチビシテムシ *Colon (Myloechus) hiraii* Nakane, 1985 が三宅島から記録されているだけだった(福澤ら, 2008)。

以上, 御蔵島から既知2種に1種が追加され, 3種が確認された。伊豆諸島からは, 三宅島と御蔵島の2島からのみチビシテムシ類の記録がある。北部の伊豆大島をはじめ, 中部の利島, 新島, 式根島, 神津島, 南部の八丈島, 青ヶ島からもチビシテムシ類は何も確認されていない。今後の調査

によって他島のチビシテムシ相も明らかになるものと期待したい。

なお, 今回の調査・研究は, 科研費基盤研究(C)の「伊豆諸島の甲虫類の種および遺伝的多様性の解明とホットスポット推定」(課題番号:24510333; 代表者:小島弘昭), ならびに科研費新学術領域「生物規範工学」の計画研究「バイオミメティクス・データベース構築」(課題番号:24120002; 代表者:野村周平)の助成を受けている。両博士に厚くお礼申し上げる。

またイヌカイヒゲトチビシテムシの同定に関してアドバイスをくださった保科英人博士, 現地調査にあたって便宜をはかってくださった, みくらしま観光協会の菱井徹, 小木万布の両氏にも心よりお礼申し上げます。

### 引用文献

- 福澤卓也・安岡竜太・浅野貴裕, 2008. 伊豆諸島三宅島におけるチビシテムシ類3種の記録. 甲虫ニュース, (163): 11.  
Hoshina, H., 2009. A taxonomic revision of the subfamily Coloninae (Coleoptera: Leiodidae) from Japan and Taiwan. Tijdschrift voor Entomologie, (152): 237–286.  
澤田玄正・渡辺泰明, 1969. 御蔵島の昆虫相. 東京農業大学農学集報, 14(1): 1–48.

(2015年4月16日受領, 2015年6月8日受理)